

帳票詳細要件 国民健康保険システム

表紙	資格管理	
	帳票名称 用紙サイズ	40 国民健康保険資格確認書（必須記載事項のみ）（カード） 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタマーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式（例）男 or 女 ※性同一性障害者の場合、（例）裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式（例）マル学の場合は丸囲みで“学”、マル遠の場合は丸囲みで“遠”		●			マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養		●			●	
21	住所	都道府県名漢字＋市町村名漢字＋住所＋地番＋方番	●			●	
22	被保険者氏名カナ			●			氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。 郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			
24	交付者住所	当該帳票を発行する保険者の住所 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●		●	交付者の所在地を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
25	交付者電話番号	当該帳票を発行する保険者の電話番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●		●	交付者の連絡先を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
26	連番	（引抜用番号）	●				
27	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
28	簡易書留番号			●			
29	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。

表紙	資格管理	帳票名称	40 国民健康保険資格確認書（必須記載事項のみ）（カード）
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
30	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
31	通知文	（お問い合わせ先） ※表示文言は保険者で設定できること	●				
32	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
33	問い合わせ先 住所		●			●	
34	問い合わせ先 課名		●			●	
35	問い合わせ先 電話番号		●			●	
36	発効期日	和暦表記 ※70歳未満の被保険者の場合は、「発効期日」及び「発効期日のラベル」を出力しない		●		●	
37	負担割合	※70歳未満の被保険者の場合は、「負担割合」及び「負担割合のラベル」を出力しない		●		●	

(表面)

窓空宛名	〇 〇 県	有効期限	年 月 日
	国民健康保険		
	資格確認書		
	記号	番号	(枝番)
	氏名		性別
	生年月日	年 月 日	年 月 日
	適用開始年月日	年 月 日	年 月 日
	交付年月日	年 月 日	年 月 日
	負担割合・発効期日	割・	年 月 日
	限度区分・発効期日	・	年 月 日
	長期入院該当年月日	・	年 月 日
	特定疾病区分・発効期日		年 月 日
	世帯主氏名		
	保険者番号		
	交付者名	〇〇市	
			印

(お問い合わせ先)

〒000-0000
〇〇市〇〇町1丁目2番3号
国保課
電話番号 000-000-0000

(裏面)

住所	
備考	

※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。

《1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。》

【 心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球・じんすい 】

〔特記欄： 〕

署名年月日： 年 月 日

本人署名(自筆)： 家族署名(自筆)：

帳票詳細要件 国民健康保険システム

表紙	資格管理	
	帳票名称 用紙サイズ	41 国民健康保険資格確認書（任意記載事項あり）（カード） 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタマーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式（例）男 or 女 ※性同一性障害者の場合、（例）裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式（例）マル学の場合は丸囲みで“学”、マル遠の場合は丸囲みで“遠”		●			マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養		●			●	
21	住所	都道府県名漢字＋市町村名漢字＋住所＋地番＋方番		●		●	
22	被保険者氏名カナ			●		●	氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。 郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			
24	交付者住所	当該帳票を発行する保険者の住所 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●		●	交付者の所在地を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
25	交付者電話番号	当該帳票を発行する保険者の電話番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●		●	交付者の連絡先を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
26	連番	（引抜用番号）	●				
27	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
28	簡易書留番号			●			
29	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。

表紙	資格管理	帳票名称	41 国民健康保険資格確認書（任意記載事項あり）（カード）
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
30	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
31	通知文	（お問い合わせ先）	●			●	
32	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
33	問い合わせ先 住所		●			●	
34	問い合わせ先 課名		●			●	
35	問い合わせ先 電話番号		●			●	
36	負担割合・発効期日	「負担割合」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※70歳未満の被保険者の場合は、「負担割合」、「発効期日」及び「負担割合・発効期日のラベル」を出力しない		●		●	
37	限度区分・発効期日	「限度区分」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※任意記載項目として「限度区分」を未選択の場合は、「限度区分」、「発効期日」及び「限度区分・発効期日のラベル」を出力しない	●			●	
38	長期入院該当日	和暦表記 ※任意記載項目として「限度区分」を未選択の場合は、「長期入院該当日」及び「長期入院該当日のラベル」を出力しない	●			●	
39	公印 2	長期入院該当日の保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例）事前（プシ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	省令様式＜様式第一号の九（第二十七条の十四の五関係）＞のレイアウトに合わせ、公印2（長期入院該当の保険者の公印）を実装すべき機能とする。
40	特定疾病区分・発効期日	「特定疾病区分」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※任意記載項目として「特定疾病区分」を未選択の場合は、「特定疾病区分」、「発効期日」及び「特定疾病区分・発効期日のラベル」を出力しない	●			●	

(表面)

窓空宛名		〇〇県		有効期限		年		月		日					
		国民健康保険 資格確認書		(特別療養)											
		記号		番号						(枝番)					
		氏名													
		生年		月		日		年		月		日		性別	
		適用開始年		月		日		年		月		日			
		交付年		月		日		年		月		日			
		世帯主氏名													
		住所													
		保険者番号						〇〇市							
		交付者名												印	

(お問い合わせ先)

〒000-0000
〇〇市〇〇町1丁目2番3号
国保課
電話番号 000-000-0000

(裏面)

注意事項	
この証で診療を受けるときは、診療費用の全額を支払ってください。	
備考	
※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。	
1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。	
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。	
3. 私は、臓器を提供しません。	
《1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。》	
【 心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球・じんすい 】	
[特記欄：	
署名年月日：	年 月 日
本人署名(自筆)：	家族署名(自筆)：

表紙	資格管理	帳票名称 用紙サイズ
	42 国民健康保険資格確認書（特別発券）（必須記載事項のみ）（カード） 不定形用紙	

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタマーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式（例）男 or 女 ※性同一性障害者の場合、（例）裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式（例）マル学の場合は丸囲みで“学”、マル遠の場合は丸囲みで“遠”		●			マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養住所		●			●	
21	住所	都道府県名漢字＋市町村名漢字＋住所＋地番＋方書	●			●	
22	被保険者氏名カナ			●			氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。 郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			
24	交付者住所	当該帳票を発行する保険者の住所 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●		●	交付者の所在地を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
25	交付者電話番号	当該帳票を発行する保険者の電話番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●		●	交付者の連絡先を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
26	連番	（引抜用番号）	●				
27	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
28	簡易書留番号			●			
29	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。

業務	資格管理	帳票名称	42 国民健康保険資格確認書（特別療養）（必須記載事項のみ）（カード）
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
31	通知文	（お問い合わせ先）	●			●	
32	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
33	問い合わせ先 住所		●			●	
34	問い合わせ先 課名		●			●	
35	問い合わせ先 電話番号		●			●	

窓空宛名

印

備考

家族署名(自筆): _____

表紙	資格管理	帳票名称 用紙サイズ	43 国民健康保険資格確認書（必須記載事項のみ）（ほかき）
			不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタマーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式（例）男 or 女 ※性同一性障害者の場合、（例）裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式（例）マル学の場合は丸囲みで“学”、マル遠の場合は丸囲みで“遠”		●			マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養		●			●	
21	住所	都道府県名漢字＋市町村名漢字＋住所＋地番＋方番	●			●	
22	被保険者氏名カナ			●		●	氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
24	交付者住所	当該帳票を発行する保険者の住所 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●			交付者の所在地を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
25	交付者電話番号	当該帳票を発行する保険者の電話番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●			交付者の連絡先を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
26	連番	（引抜用番号）	●				
27	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
28	簡易書留番号			●			
29	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。

表紙	資格管理	帳票名称	43 国民健康保険資格確認書（必須記載事項のみ）（はがき）
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
30	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
31	通知文		●			●	
32	発効期日	和暦表記 ※70歳未満の被保険者の場合は、「***」を出力		●		●	
33	負担割合	※70歳未満の被保険者の場合は、「***」を出力		●		●	

表紙	資格管理	帳票名称 用紙サイズ
	44 国民健康保険資格確認書（任意記載事項あり）（ほかき）	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタマーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式（例）男 or 女 ※性同一性障害者の場合、（例）裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式（例）マル学の場合は丸囲みで“学”、マル遠の場合は丸囲みで“遠”		●			マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養		●			●	
21	住所	都道府県名漢字＋市町村名漢字＋住所＋地番＋方番	●			●	
22	被保険者氏名カナ			●		●	氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。 郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			
24	交付者住所	当該帳票を発行する保険者の住所 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●			交付者の所在地を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
25	交付者電話番号	当該帳票を発行する保険者の電話番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。		●			交付者の連絡先を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
26	連番	（引抜用番号）	●				
27	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
28	簡易書留番号			●			
29	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。

表紙	資格管理	帳票名称	44 国民健康保険資格確認書（任意記載事項あり）（はがき）
	不定形用紙		

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
30	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
31	通知文		●			●	
32	負担割合・発効期日	「負担割合」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※70歳未満の被保険者の場合は、「***」を出力		●		●	
33	限度区分・発効期日	「限度区分」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※任意記載項目として「限度区分」を未選択の場合は、「***」を出力	●			●	
34	長期入院該当日	和暦表記 ※任意記載項目として「限度区分」を未選択の場合は、「***」を出力	●			●	
35	公印 2	長期入院該当の保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例）事前（づし）印刷がある場合、出力しない。		●			新たに長期入院該当となった場合は、長期入院該当日の記載、及び交付者印（豆印）を押印するが、交付者印（豆印）は手で押印することも可能であることから、標準オプションとする。
36	特定疾病区分・発効期日	「特定疾病区分」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※任意記載項目として「特定疾病区分」を未選択の場合は、「***」を出力	●			●	

(表面)

窓空宛名

〇〇県 国民健康保険資格確認書 (特別療養)														
有効期限		年	月	日										
交付年月日		年	月	日										
記号	番号	(枝番)												
氏名			性別											
生年月日	年 月 日													
適用開始年月日	年 月 日													
世帯主氏名														
住所														
保険者番号 並びに交付 者の名称及 び印	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>													印
			〇〇市											

(裏面)

注意事項		
この証で診療を受けるときは、診療費用の全額を支払ってください。		
備考	<table><tr><td></td></tr></table>	
※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。記入する場合は、1 から 3 までのいずれかの番号を○で囲んでください。		
1. 私は、 <u>脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも</u> 、移植の為に臓器を提供します。		
2. 私は、 <u>心臓が停止した死後に限り</u> 、移植の為に臓器を提供します。		
3. 私は、臓器を提供しません。		
《1 又は 2 を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。》		
【 心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球 】		
[特記欄：]		
署名年月日： 年 月 日		
本人署名(自筆)：		
家族署名(自筆)：		

表紙	資格管理	
	帳票名称 用紙サイズ	45 国民健康保険資格確認書（特別養老）（必須記載事項のみ）（はがき） 不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタマーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式 (例) 男 or 女 ※性同一性障害者の場合、(例) 裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式 (例) マル学の場合は丸囲みで"学"、マル遠の場合は丸囲みで"遠"		●			マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養		●			●	
21	住所	都道府県名漢字+市町村名漢字+住所+地番+方番	●			●	
22	被保険者氏名カナ			●			氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
24	交付者住所	当該帳票を発行する保険者の住所 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。		●			交付者の所在地を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
25	交付者電話番号	当該帳票を発行する保険者の電話番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。		●			交付者の連絡先を出力するケースを考慮し、交付者住所を標準オプシジョンとする。
26	連番	(引抜用番号)	●				
27	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
28	簡易書留番号			●			
29	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。

表紙	資格管理	帳票名称	45 国民健康保険被保険者資格確認書（特別添葉）（必須記載事項のみ）（はがき）
		用紙サイズ	不定形用紙

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
30	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
31	通知文		●			●	

窓空宛名

(お問い合わせ先)
〒000-0000
〇〇市〇〇町1丁目2番3号
国保課
電話番号 000-000-0000

キリトリ線

〇〇県国民健康保険資格確認書

有効期限 年 月 日
発効期日 年 月 日

記号		番号	(枝番)								
氏名			性別								
生年月日	年 月 日										
適用開始年月日	年 月 日										
交付年月日	年 月 日										
一部負担金の割合	割										
世帯主氏名											
住所											
保険者番号並びに 交付者の名称及び印	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 〇〇市 印										

表紙	資格管理		帳票名称 用紙サイズ	46 国民健康保険資格確認書（必須記載事項のみ）（A4） A4

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛で記載されており、被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプションとする。
5	カスタマバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式 (例) 男 or 女 ※性同一性障害者の場合、(例) 裏面参照	●			●	
15	学遠区分名称	打ち出し形式 (例) マル学の場合は丸囲みで"学"、マル遠の場合は丸囲みで"遠"		●			マル学・マル遠の記載については、ほかまサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプションとする。
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前 (プレ) 印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	枝番		●			●	
21	住所	都道府県名漢字+市町村名漢字+住所+地番+方番	●			●	氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプションとする。
22	被保険者氏名カナ			●			
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引抜時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプションとする。
24	連番	(引抜用番号)	●				
25	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプションとする。
26	簡易書留番号			●			
27	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプションとする。
28	再発行区分名称	打ち出し形式 (例) 再発行の場合は丸囲みで"再"		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分名称を標準オプションとする。
29	通知文		●			●	
30	発効期日	和暦表記 ※70歳未満の被保険者の場合は、「***」を出力		●		●	

表紙	資格管理	帳票名称	46 国民健康保険資格確認書（必須記載事項のみ）（A4）
		用紙サイズ	A4

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
31	負担割合	※70歳未満の被保険者の場合は、「***」を出力		●		●	
32	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
33	問い合わせ先 住所		●			●	
34	問い合わせ先 課名		●			●	
35	問い合わせ先 電話番号		●			●	

窓空宛名

(お問い合わせ先)
〒000-0000
〇〇市〇〇町1丁目2番3号
国保課
電話番号 000-000-0000

キリトリ線

〇〇県国民健康保険資格確認書

有効期限 年 月 日
交付年月日 年 月 日

記 号		番 号	(枝番)							
氏 名				性 別						
生 年 月 日	年 月 日									
適用開始年月日	年 月 日									
負担割合・発効期日	割 ・	年 月 日								
限度区分・発効期日	・	年 月 日								
長期入院該当日	年 月 日			印						
特定疾病区分・発効期日	・	年 月 日								
世 帯 主 氏 名										
住 所										
保険者番号並びに 交付者の名称及び 印	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>									〇〇市 印

表紙	資格管理	帳票名称 用紙サイズ	47 国民健康保険資格確認書（任意記載事項あり）（A4） A4

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
1	窓空宛名郵便番号		●			●	
2	窓空宛名住所		●			●	
3	窓空宛名氏名		●			●	
4	窓空宛名被保険者名	" 被保険者の氏名 " + " 様分 " を表示		●		●	国民健康保険においては、世帯単位での管理を基本としており、発送物は世帯主宛が基本となる。 被保険者名は各証・証明書の中で記載されており、確認可能なため、宛名としての被保険者名の印字は標準オプシジョンとする。
5	カスタママーバーコード			●		●	
6	都道府県名	※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
7	有効期限	和暦表記	●			●	
8	適用開始年月日	和暦表記	●			●	
9	被保険者記号	空欄で出力することも可能なこと	●			●	市区町村によっては被保険者記号を設定しない場合もあることから、空欄で出力することも可能とする。
10	被保険者番号		●			●	
11	被保険者氏名	日本人は和暦表記、外国人は西暦表記	●			●	
12	生年月日	和暦表記	●			●	
13	交付年月日		●			●	
14	性別	打ち出し形式（例）男 or 女 ※性同一性障害者の場合、（例）裏面参照	●			●	マル学・マル遠の記載については、はがきサイズの被保険者証を世帯に1枚交付する際に、遠隔地に居住するマル学・マル遠者用に別交付している分を区分けることを目的としていることから、学遠区分名称を標準オプシジョンとする。
15	学遠区分名称	打ち出し形式（例）マル学の場合は丸囲みで“学”、マル遠の場合は丸囲みで“遠”		●			
16	世帯主氏名		●			●	
17	保険者番号	当該帳票を発行する保険者の保険者番号 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
18	交付者名	当該帳票を発行する保険者名 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
19	公印	当該帳票を発行する保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例) 事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	
20	扶養		●			●	
21	住所	都道府県名漢字＋市町村名漢字＋住所＋地番＋方番	●			●	
22	被保険者氏名カナ			●		●	氏名カナの併記を可能とするため、被保険者氏名カナを標準オプシジョンとする。
23	対象者番号	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		●			郵便物が返送された際に開封せずに対象者検索する。また、引取時に対象者を特定可能とするため、対象者番号を標準オプシジョンとする。
24	連番	（引抜用番号）	●				
25	簡易書留用バーコード			●			簡易書留による郵便料金の割引を可能とするため、簡易書留用バーコード・簡易書留番号を標準オプシジョンとする。
26	簡易書留番号			●			
27	返送用登録番号			●			帳票の返送状況を管理するため、返送用登録番号を標準オプシジョンとする。
28	再発行区分名称	打ち出し形式（例）再発行の場合は丸囲みで“再”		●			市区町村によっては再発行の場合に「再」の字を出力する運用を行っている場合もあることから、再発行区分分名称を標準オプシジョンとする。
29	通知文		●			●	
30	負担割合・発効期日	「負担割合」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※70歳未満の被保険者の場合は、「* * *」を出力		●		●	

表紙	資格管理	47 国民健康保険資格確認書（任意記載事項あり）（A4）
	帳票名称 用紙サイズ	A4

通番	システム印字項目	印字編集条件など	必須	オプション	不可	帳票レイアウト表示	要件作成における 経緯・留意事項等
31	限度区分・発効期日	「限度区分」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※任意記載項目として「限度区分」を未選択の場合は、「***」を出力	●			●	
32	長期入院該当日	和暦表記 ※任意記載項目として「限度区分」を未選択の場合は、「***」を出力	●			●	
33	公印 2	長期入院該当の保険者の公印 ※初期設定により、出力有無を設定できること 例）事前（プレ）印刷がある場合、出力しない。	●			●	省令様式く様式第一号の九（第二十七条の十四の五関係）>のレイアウトに合わせ、公印 2（長期入院該当の保険者の公印）を実装すべき機能とする。
34	特定疾病区分・発効期日	「特定疾病区分」＋「・」＋「発効期日」（和暦表記） ※任意記載項目として「特定疾病区分」を未選択の場合は、「***」を出力	●			●	
35	問い合わせ先 郵便番号		●			●	
36	問い合わせ先 住所		●			●	
37	問い合わせ先 課名		●			●	
38	問い合わせ先 電話番号		●			●	

窓空宛名

(お問い合わせ先)
〒000-0000
〇〇市〇〇町1丁目2番3号
国保課
電話番号 000-000-0000

キリトリ線

〇〇県国民健康保険資格確認書
(特別療養)

有効期限 年 月 日
交付年月日 年 月 日

記号		番号	(枝番)								
氏名			性別								
生年月日	年 月 日										
適用開始年月日	年 月 日										
世帯主氏名											
住所											
保険者番号並びに 交付者の名称及び印	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										
〇〇市			印								